

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	森本幾子	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	流通経済史（日本近世・近代）		

I 教育活動

本年度担当科目

	授業科目
学部	経済史、地域経済史、日本経済史、日本歴史の流れ、尾道学入門（オムニバス）、基礎演習Ⅰ（前期）、専門演習Ⅰa,b（前期・後期）、専門演習Ⅱ（前期・後期）
大学院	日本経済史特論

II 研究活動

現在の研究テーマ（3つまで）

- (1) 幕末・明治前期における商人経営と市場構造
- (2) 近世後期における尾道の経済と文化
- (3) 近世後期における広島藩と徳川将軍家

本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30

- R2 〈論文〉「幕末期中央市場の金融機能と商人経営 - 阿波国撫養山西家の廻船経営から -」
（『尾道市立大学経済情報論集』第20巻・第1号、2020年7月、105頁～140頁）
- R1 〈報告要旨〉「近世尾道における地域活性化と来訪者の力ー行商人・芸能者・医療関係者ー」、榎本慶彦・森本幾子
「尾道と北前船ー交流の歴史をたどるー」（『尾道市立大学地域総合センター叢書No.10』2019年7月、52頁～60頁、61頁～62頁）
〈論文〉「松江藩の尾道廻米」（松江市史編集委員会編『松江市史（通史編 近世Ⅱ）』2020年3月、293頁～303頁）
〈学会発表〉「幕末期阿波国商品生産地域における米穀流通（50周年記念論集報告）」（徳島地方史研究会報告、2020年1月、徳島県立文学書道館）
- H30 〈論文〉「近世近代移行期の商人資本と地域経済ー山西家による肥料代金決済をめぐるー」
（『徳島発展の歴史的基盤ー「地力」と地域社会ー』雄山閣出版、2018年、247頁～270頁）
〈学会発表〉「幕末期地方商人の経営と大坂両替商の金融機能」（大阪歴史学会例会（例会報告、2019年1月、大阪市淀川区民センター）

H29以前の主な研究業績

- (1) 〈論文〉「19世紀における阿波商人の経済活動と奉納」（『徳島地域文化研究』第16号、2018年3月、60頁～73頁）
- (2) 〈論文〉「19世紀における撫養湊の発展と淡路廻船」（徳島県『「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査報告書～文化編～』2017年3月）
- (3) 〈論文〉「天保期広島藩政と二葉山御社造営事業ー太祖浅野長政の「神格化」ー」
（『芸備地方史研究』第307号、2017年6月、1頁～22頁）
- (4) 〈論文〉フランツィスカ・エームケ・藪田貫ほか『新出「浪花名所図屏風」の研究』
（関西大学なにわ大阪研究センター、2016年3月）
- (5) 〈論文〉「十九世紀～二十世紀の徳島の経済と山西家」（鳴門教育大学『鳴門史学』第28集、2014年）

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2

所属学会・所属団体 役職等と任期

日本史研究会、社会経済史学会、大阪歴史学会、地方史研究会、徳島地方史研究会、芸備地方史研究会、徳島地域文化研究会

IV 社会活動

2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
(1) 尾道市関係	尾道市文化財保護委員会	委員	1回
	尾道市史編さん委員会	委員	1回
	尾道市史編纂委員会（近世史部会）	委員	1回